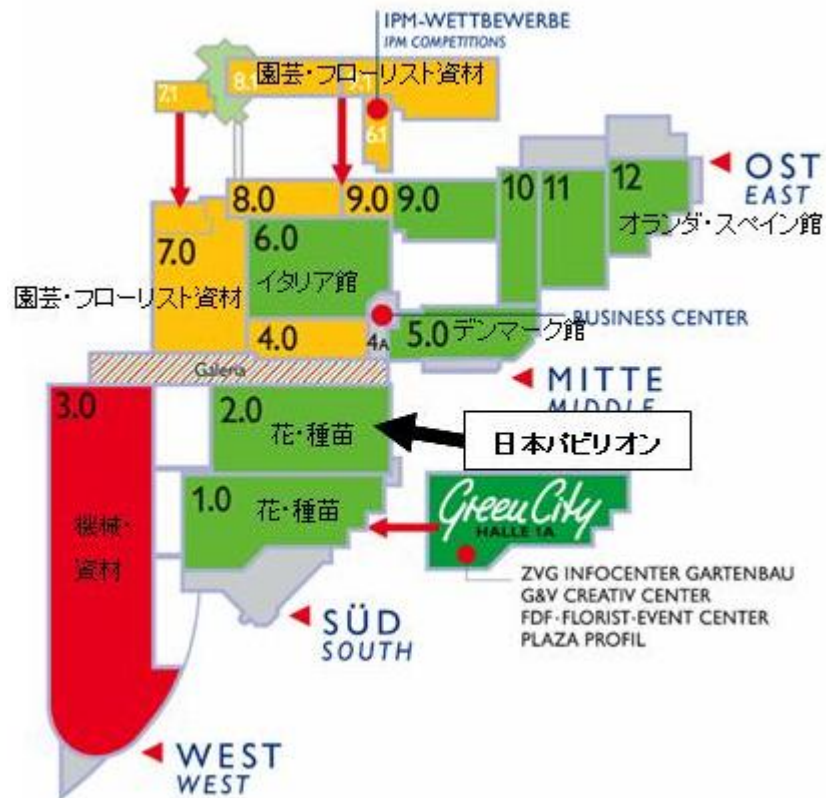
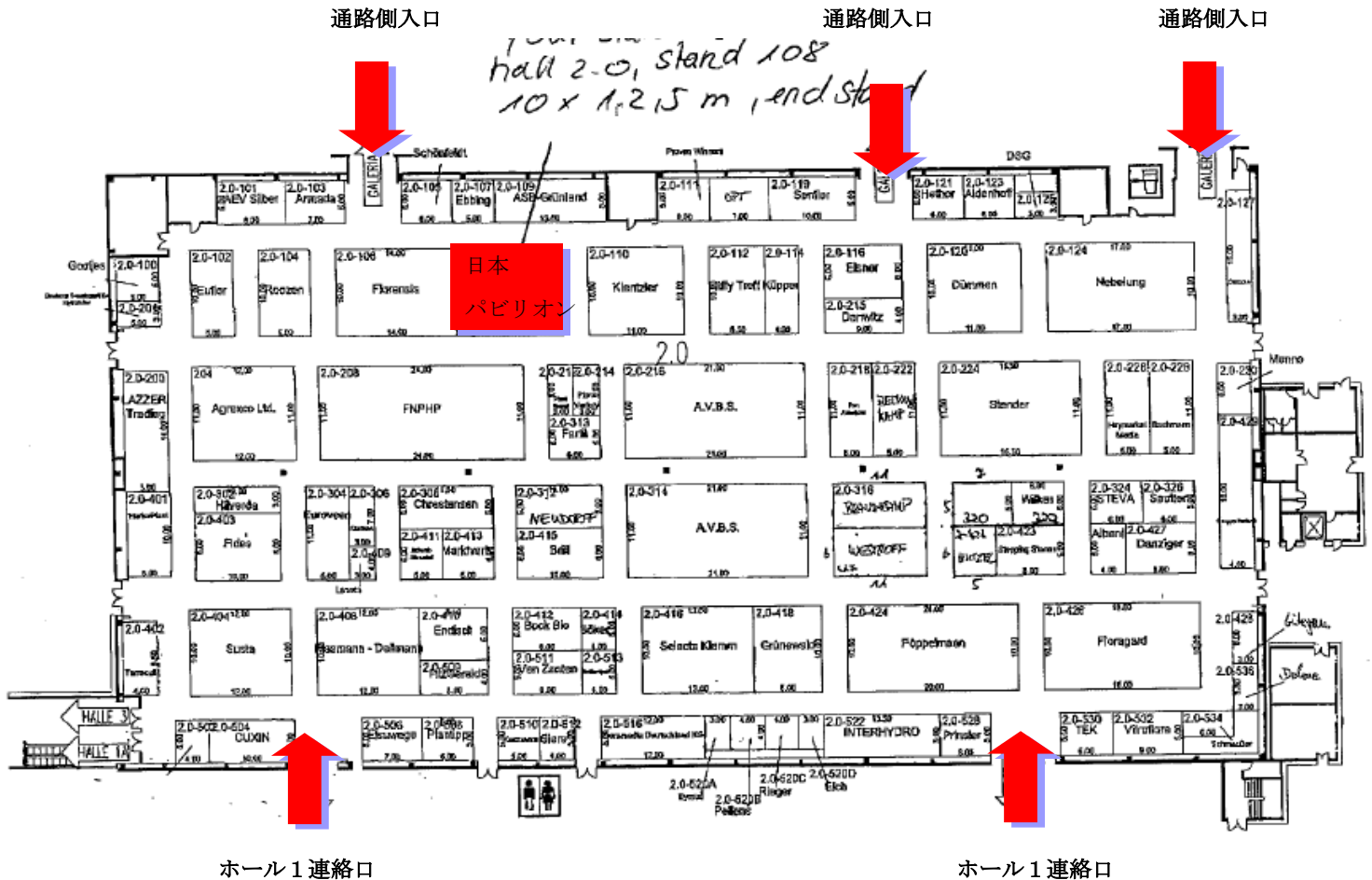


5. 展示会場 レイアウト

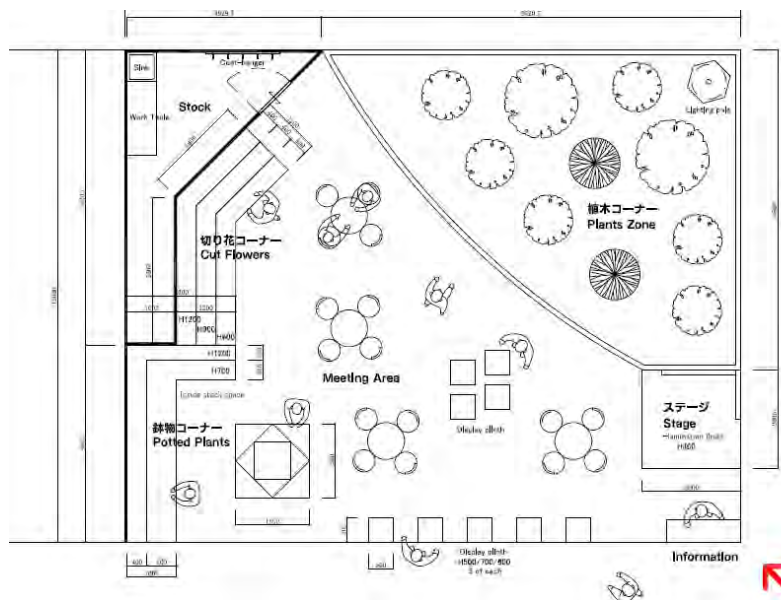


6. 展示会場内 日本パビリオン位置

サイズ: 10m × 12.5m = 125 m²



7. 日本パビリオン イメージ



* 実際の施工とは異なります。

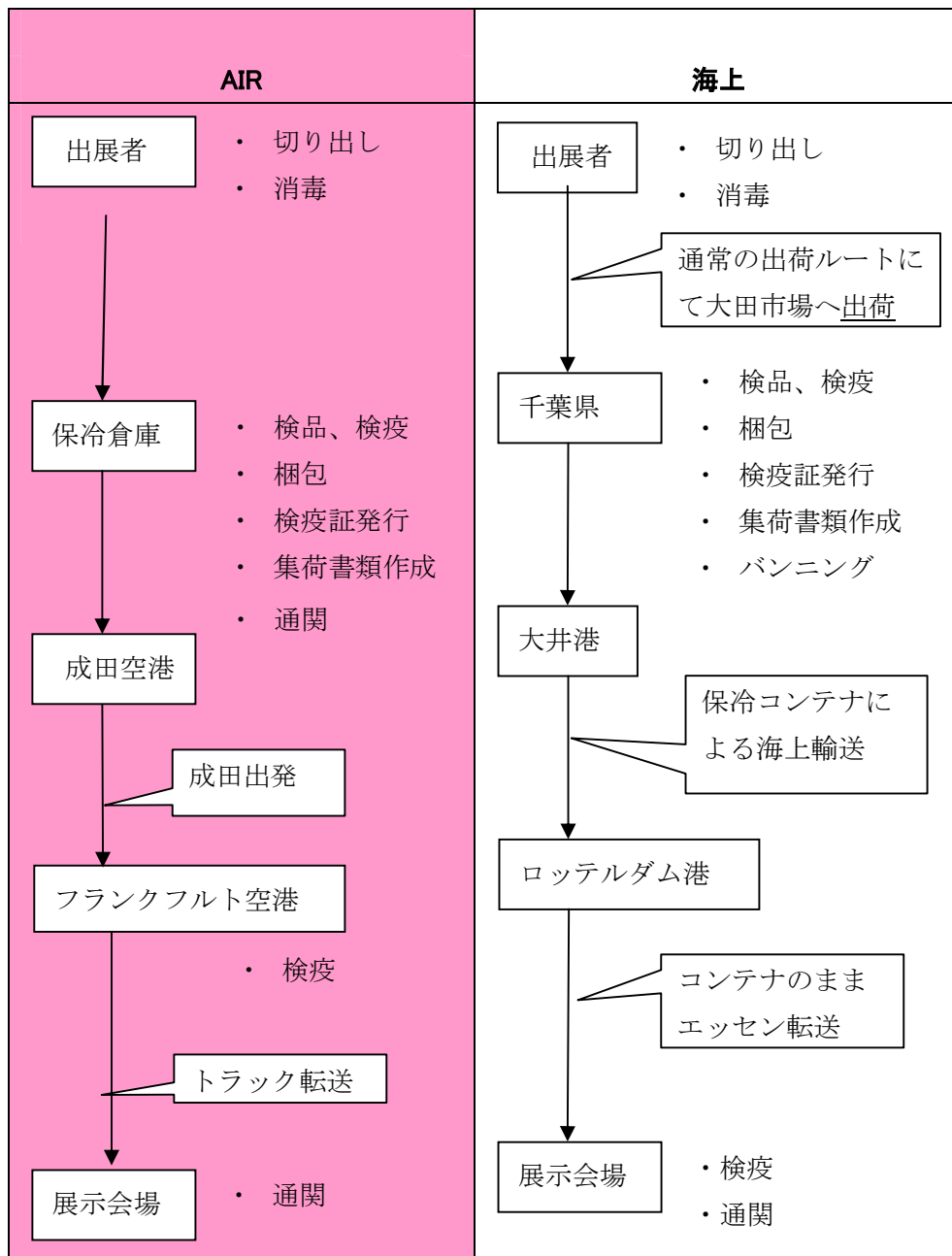


IPM 2010
Japan Pavilion
IMAGE-C

※上記はイメージとなります。実際のものとは異なります。

8. 基本ルート

出展に関わる花き及び資材については、下記輸送ルートを基本とします。



注：海上輸送に関しては、今後の状況に応じてスケジュールが変更となる可能性があります。

9. 梱包

IPM エssen 2010 に出展する花材につき、日本から展示会場までその品質を劣化させることなく輸送するため、各出展者は下記の点をご留意の上、以下の要領で梱包を行って下さい。

【切花】

- 展示会に出展する花材は、出荷前に**必ず消毒をして下さい**。輸出の際、検疫時に病虫害が発見された場合は輸出ができなくなります。
- 輸送所要時間が通常の国内での取引の場合と比較して長くなりますので、花材の品質保持のため、必要な処置をお願いします。
- 水は使用せず、エコゼリーで対応してください。
- 通気性をよくするため、各カートンに通風穴を開けます(カートンの強度維持に注意)。
- 梱包に際しては、全ての花材をカートン(ダンボール箱)に梱包して下さい。また、カートンについては、輸出用のダブル・カートンなど、航空機による輸出に耐える十分な強度を持ったカートンをご使用願います。(木材は一切使用しないようにして下さい)
- 輸送する花材の性質・性状、所要時間、輸送条件(振動、衝撃、温度)等を考慮し、花材の品質を劣化させることなく展示会場に届けるための梱包をお願いします。
- 輸送に使用する輸送機具は、トラック、フォークリフト、航空機、空港内で使用する航空機用パレットの荷役・移動機器、その他です。貨物の輸送中、荷役中、航空機の離着陸時等に、若干の振動と衝撃がありますので、しっかりと固定するようにしてください。

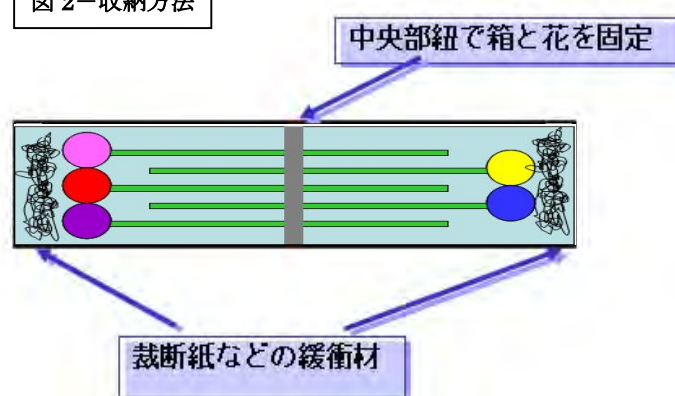
梱包手順

- ① 花材は品種ごとに束ねてください。
※ 解きやすいようにバンドルして束ねてください。
- ② 結露花材によっては各花束を新聞紙で包むなど、結露防止処置を行ってください。(図 1)
- ③ 花束は頭を互い違いに収納していきます(収納効率を高めるため)。(図 2)
- ④ 箱の両端にはシュレッダーを通した裁断紙のような緩衝材を入れてください。(図 2)
- ⑤ 箱の中央部で花と箱を紐で縛り、固定してください。(図 1、2)
- ⑥ 花材収納後、カートンの蓋はガムテープでしっかりと閉じてください。

図 1—新聞紙による結露対策



図 2—収納方法



【鉢物】

(1) 前処理

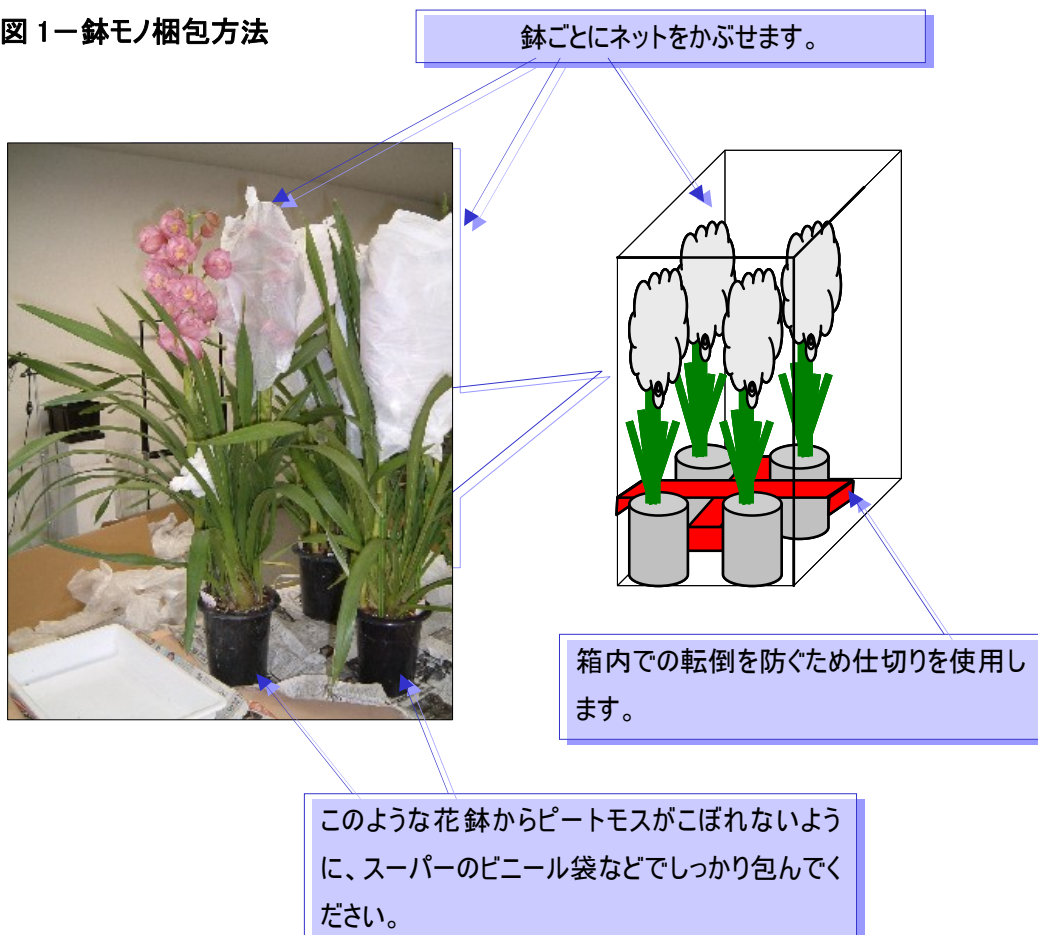
- カートン箱内での転倒などを防ぐための仕切りを用意してください。
- 盆栽等、カートンに梱包しただけでは安全性に不安が残る貨物については、出展者が梱包したカートンを輸送会社において更に木枠に梱包し、貨物の転倒等を防止します。早目にご相談下さい(木枠梱包する貨物については、フライト日の 12 日前までに、カートンの個数、カートンごとの重量、サイズをご連絡下さい)。

- ① 展示会に出展する花材は、出荷前に**必ず消毒をして下さい**。輸出の際、検疫時に病害虫が発見された場合は輸出ができなくなります。
- ② 通気性をよくするため、**各カートンに通風穴**を開けます(カートンの強度維持に注意)。
- ③ ランなどの場合は頭部へのダメージを防止するため、1 鉢ごとにネットをかぶせてください。

(図 1)

- ④ ピートモスは**絶対にこぼれ落ちることのないよう**鉢をビニールで包むなどしてください。

図 1ー鉢モノ梱包方法



(2) 梱包

- 梱包に際しては、全ての花材をカートン(ダンボール箱)に梱包して下さい。また、カートンについては、輸出用のダブル・カートンなど、航空機による輸出に耐える十分な強度を持ったカートンをご使用願います。(木材は一切使用しないようにして下さい)
- 輸送する花材の性質・性状、所要時間、輸送条件(振動、衝撃、温度)等を考慮し、花材の品質を劣化させることなく展示会場に届けるための梱包をお願いします。
- 輸送に使用する輸送機具は、トラック、フォークリフト、航空機、空港内で使用する航空機用パレットの荷役・移動機器、その他です。貨物の輸送中、荷役中、航空機の離着陸時等に、若干の振動と衝撃がありますので、しっかりと固定するようにしてください。

梱包手順

- ① 梱包前処理で花にネットを被せた状態で箱へ収納していきます。
 - ② 箱内の仕切りなどを利用し、鉢が上下左右に動かないようしっかりと固定してください。
 - ③ 1カートンあたりの重量は20KG程度までとします。
 - ④ 花材収納後、カートンの蓋は布製ガムテープでしっかりと閉じてください。
- ※ ラン等鉢物の場合には1箱あたり4鉢までとします。
- ※ ネットをかぶせた鉢の入ったカートンには必ず、ネットのスペアを同梱してください。

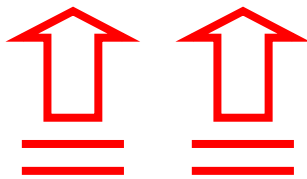
10. 外装表示

(1) 注意事項

カートンすべての外装に各注意事項を表示します。

- ① 「ケアマーク」を赤色にて必ず明記して下さい。

アップダウン



取扱注意

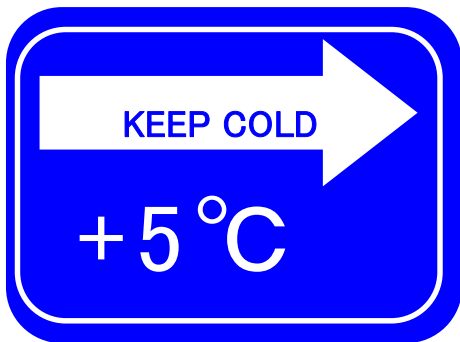


- ② 【Keep Cold +5°C】の温度表示シールを必ずしっかりと貼ってください。

温度表示シール:

切花の場合は5°Cで設定します。

表示例: 温度表示は見やすい場所へ。



注: 適正温度は各出展者に再確認させていただきます。

11. 会場内において

◆ セキュリティー

- ① 会場内では、出展者入館証(Exhibitor's Pass)を常に携帯するようして下さい。
- ② 出展者入館証(Exhibitor's Pass)は会期前日(1月25日)に会場にて配布予定としております。配布する場所と時間に関しては、追ってご連絡いたします。
- ③ パビリオン内にはパントリー(物置き部屋)がございますが、貴重品は必ず携帯し、自己責任で管理願います。
- ④ 自社で持ち込んだ備品などが一目で分かるように、社名などを記されることをお勧めします。
- ⑤ 会期中、会場は夜7時に全館クローズした後、翌朝8時まで再入館できません。会場に忘れ物をしないようにお気を付け下さい。高額な物品は必ずいったん会場から持ち帰るようにして下さい。

◆ 会期前日準備

1月25日(会期前日)に出展者入館証をお渡しした後、会場内でオリエンテーションを行います。内容は以下の通りです。

- ① パビリオン内にて出展物搬入、装飾
- ② 全体オリエンテーション
- ③ 通訳の紹介と打ち合わせ。(御社パンフレット等を使って、商品の紹介ができるよう、教育してください。全体オリエンテーションの際にお引き合わせします。)

◆ 通訳

パビリオンには通訳(4名)がつく予定です。あらかじめパンフレットなど商材資料のご提供をお願い致します。また、会期前日に通訳と打ち合わせを致します。

◆ ご注意

- ① パビリオン内で大きな声や音を出さないで下さい。
- ② パビリオン内での出展者の飲食は基本的に禁止です。
(昼食等はパビリオン外でお取り下さい。また、水分補給や軽食等はパントリー内でも結構です。)
- ③ パビリオンではスーツ、ジャケットなどビジネスモードの服装をお願い致します。

◆ お願い

展示会開催期間中及び終了後に、農林水産省への報告と今後のより良い展示会運営のため、アンケート調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。また、同じ目的で会期の様子を収めた写真やビデオも使用させていただきますが、予めご了承下さい。

12. 来場者誘致

ダイレクトメール

日本パビリオンの概略と出展者の皆様の会社名、出展品目のサマリーを記載した案内書をDMにて欧州地域の有力バイヤーに配布します。つきましては、出展される品目の写真や産地プロフィール、商品説明のご提供を **10月26日(月)**までをお願い致します。

※ 写真はできるだけ解像度の高いもの(300dpi以上)をご提供下さい。サイズが小さいものは引き伸ばした際に粗くなってしまいます。

枚数は 2,000 部を印刷する予定です。ご希望の出展者の方々にも必要部数分を配布致します。後日、改めて必要部数をお伺い致しますので、事務局までお知らせください。

配布予定時期： 12月中旬

Dear Flower & Plant loving Europeans

Japan is located from the subarctic to subtropical zone. The climatic uniqueness brings four distinct seasons. Also, the oceans encircling Japan enrich mountains with full green and provide rich fresh water resources. About 7000 varieties of plants are growing on the soil, of which 40% is said to be Japanese original.

The gifts from the nature cultivated Japanese tradition, enjoying the seasons and appreciating flowers and plants in daily life. In such environment, Japanese people raised are expressed by using flower and plant, such as "KEBANNA" (Japanese traditional flower arrangement), "BONSAI" (plant cultivation by special method), and "NIHON TEIEN" (gardening by placing flowers, plants, stones and ponds into one harmonized scenery).

At the IPM Essen 2009 Japan Pavilion, for the second occasion, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries of Japan collected the distinctive flower and plant from all over the country.

This year's "Japan Pavilion" is designed as a Japanese style garden, "TEIEN". We are hoping you will enjoy the beautiful harmony and find out the cultivation quality of Japanese exotic flower and plant in the pavilion. We are also wishing that you will become Japanese flower and plant fan.

Ministry of Agriculture, Forestry and fisheries
Export Promotion

SHOW INFORMATION

Date:
Thursday January 29 to Sunday February 1, 2009
9:00-18:00

Exhibitors:
1,423 Exhibitors from 46 Countries
(Foreign exhibitors 714 / Ratio 50.2%) (2008)

Visitors:
60,000 people from 93 Countries. (2008)

Website:
<http://www.ipm-essen.de>

[Japan Pavilion]

Location:
Hall2-108

Products:
Garden Trees, Bonsai, Cut Flowers, Pot Flowers

Flower Arrangement Show:
By HANAAMI
• Flower Design School of European style located in Japan in Chigasaki
Location: Japan Pavilion
Time: 11:00-12:00 and 15:00-16:00 (24th - 27th)

More information on the exhibitors in the Japan Pavilion:
www.tatejapan.com

MAFF
Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries
農林水産省
<http://www.maff.go.jp/e/esh1/>



JAPAN PAVILION

IPM ESSEN 2009
29 JANUARY - 1 FEBRUARY 2009
ESSEN TRADE FAIR GROUND, GERMANY

Organized by
Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries of Japan

Operated by
Kinokuniya World Express Inc.

Welcome to JAPAN PAVILION

We invite you to the fascinating culture of Japan, by showing you the latest knowing of artistic Cut/Pot Flowers, Orchids and Garden Trees, among its traditional beauty.

Especially "BONSAI" (miniaturization of trees grown in pots) that requires complicated techniques to grow, is the traditional beauty which we proudly present to the world.

We introduce you to "BONSAI" from one of the major producing district, Chiba, Japan.

"BONSAI" has been inspired from the period of Tokugawa, 400 years ago, and Japanese bonsai has developed its localization of techniques and aesthetics.

We will be introducing the advanced, newly-bred flowers, along with Cut/Pot Flowers, Orchids and Garden Trees, and are prepared to provide you useful ideas of them for your business!

Although it is limited space and time, we would like you to enjoy the image of Japanese garden, and feel the Asian beauty from our items.

It would be our pleasure for you to experience the "W" (wonderful) and the "R" (harmony) of Japanese traditional beauty at Japan pavilion.

Let us share the fantastic time with Japan pavilion!

技匠



EXHIBITOR PROFILE

- 1 Aikawa, Ltd.
Buttercup winter hazel
- 2 ALPHAJAPAN, LTD.
Philadelphus orchid
- 3 Federation of Miyazaki Prefectural Economic and Agricultural Cooperative
Sawtooth
- 4 FLOWER HEART
Tulip
- 5 FUCHI SHOU, INC.
Blue leaved holly, Japanese holly, etc.
- 6 JAPAN FLOWER CULTURE ISHII FARM
Flowering Quince
- 7 Kanama Satsuki Bonsai Export Development Association
Succul.Azalea, Japanese white pine
- 8 MUKOYAMA ORCHIDS CO., LTD.
Cymbidium, Odontoglossum, Pansy, Orchid, etc.
- 9 MURAKAWA SEED CO., LTD.
Stock, etc.
- 10 SETOUCHI FORESTRY COOPERATIVE
Japanese lily-palm
- 11 SUMIKA AGROTECH CO., LTD.
Russet prairie geranium
- 12 Toyota Orchid Club
Cymbidium
- 13 TSUBERI TECH CO., LTD.
Sabbie, Sea lavender

ポップカード

出展品の品名や特徴、情報などが記載されたポップカードを出展品毎に作成いただきます。

出展品のアピールポイントを活かせるよう自由なデザインで作成していただきますが、用紙サイズは指定となります。なお、ポップカードの印刷は事務局が行いますので 11月20日(金) までにデータのご提供をお願いいたします。

制作サイズ

切花、鉢物：L版サイズ

植木、盆栽：A4版サイズ

< 参考例 >



13. 会期中イベント

フラワーアレンジメントショー

日本パビリオンの話題性の創出や、直接的な視覚による訴求を目的として、フラワーアレンジメントのショーイベントを1日1回(3日間)実施する予定です。

| | |
|-----------|----------------------------------|
| 場所 | 日本パビリオン内特設ステージ |
| 日時 | 2010年1月26、28、29日 13:00~14:00(予定) |
| デモンストレーター | 花阿彌・久保先生以下講師の方々(予定) |

【昨年度の様子】



お茶会デモンストレーション

日本パビリオンの話題性の創出や日本花き文化の普及効果を目的とし、日本庭園を背景にしたお茶会デモンストレーションを実施する予定です。

| | |
|-----------|-------------------------------|
| 場所 | 日本パビリオン内特設ステージ |
| 日時 | 2010年1月27日(水) 13:00~14:00(予定) |
| デモンストレーター | 裏千家 倉本先生(予定) |